第５学年「音楽」学習指導案

授業者　町田直樹

２月１７日（土）４階アッセンブリ　１０：００～１０：４０（話し合い　１１：００～１１：４５）

１ 題材名　「Music Map」

２ 題材について

本題材は年間を通して継続していくものである。この学習の大きな特徴は，活動を自らが設計し，進めていくところにある。従って，扱う楽曲や表現方法も個に委ねられている。また，活動するメンバーも一人から数人のグループと多岐に渡り，集団構成も流動的である。

この活動では，子どもが自分で音楽活動を運営していく。様々な音楽が混在する教室空間で，インスピレーションを得て，アイデアを思い描き，行動計画を設計し，進歩について振り返り，自己もしくは他者からのアドバイスを受けとめ，ひとつのタームを完了させていく。調査し，探求し，作品（演奏）を創造し，見直し，修正を繰り返したのちに，完了のタイミングとその成功度をある程度判断する。また，子どもたちは，自分なりの探求の道筋に沿って，学んだことを自分のものにしていく。作品（演奏）に深くかかわり，創造性の拡散的な思考過程と収束的な思考過程を示し，問題に対する解決方法を自立的に発明する。

このような学習の繰り返しから，音楽的要素の習得や表現の自由さを認識し，次なる活動へとつなげている姿が多く見られている。個では味わえない，集団で活動している学校音楽だからこその醍醐味でもある。常に音がある環境で仲間とともに活動をすることから，自己や作品（演奏）をメタ的に捉える力を自然と身に付けていくと捉えている。同時に，音楽を通して，音楽における認知的スキルと，社会情動的スキルを交錯させながら複合的に習得していくと考えている。

おもしろい音楽的発想を持っている子が多い５学年の児童。じっくりと向き合える時間を保証してきた。本題材では互いに聴きあう中で，新たな気づきや自分たちなりの発想を促していきたい。そして，繰り返し行われる音楽活動を通して，次第に創造性や，批判的思考を育んでいってほしい。

３　学習指導計画（３学期：８時間目／全１２時間）

１時間目・・１２時間目

ミュージックマップの時間（４年生から継続して活動している）
やりたいことを選ぶ・個人やグループで考え練習・発表・感じたことなどを交流する

リコーダーの演奏・歌唱活動
その時の子どもの実態に合わせて選曲

４　本時の学習について

（１）本時のねらい

自分（たち）の計画のもと，自分（たち）なりに音楽表現を追究することができる。

（２）予想される本時の展開

主な活動と子どもの姿	留意点
○各自「Music Map」に取り組む →仲間とともに構成を考える。 →互いに教えあう →聴いて音を確認しながら習得していく →自分の好きな音楽を聴く ○発表を聴きあう～コメントタイム ○みんなで歌ったり，演奏したりする。	「基本的に様子を見守るスタンスで」 ・必要に応じて話を聞く ・必要に応じて一緒に試す ・子どもが言語化したものをつなぐ ・その子なりの表現方法で

【参考文献】OECD教育研究革新センター(2023)『創造性と批判的思考　学校で教え学ぶことの意味は何か』明石書店

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

小学校での音楽を学ぶ意義について